

檀信徒各位

## 春季彼岸法要のご案内

聖名 新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、例年3月の「春季彼岸法要」を迎えることになりました。

ご多忙の折柄、恐縮乍ら、何卒万障お繰り合わせご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。 合掌

平成22年3月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁 拝

記

※期 日 3月21日（日）春分の日

※時 間 午後1時より音楽法要、ご回向  
午後2時より講演

※講 師 林田 繁 氏（キャンサーヘルプネット代表）

現在、ガンの患者さんやその家族の方を対象に、毎月2回の勉強会を開催。  
その回数は天王台クリニックでの勉強会を含めると500回以上

※ご回向料

普通回向 1霊 1,000円以上

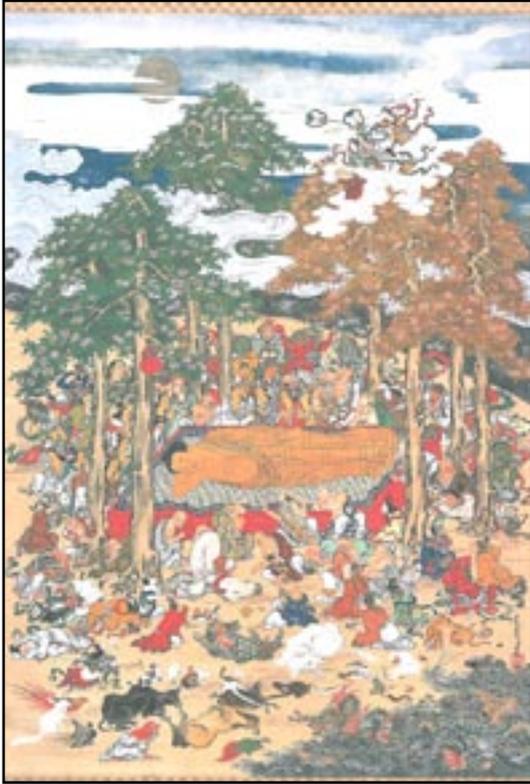
※お供え米、お供え米料 随意ご志納下さい。

毎日の本尊様のお供え、お花代等にさせていただきます。

※郵便振替等で申し込まれる方も位牌型をお送り下さい。

ねはんえ  
涅槃会

2月15日はお釈迦さまのご命日（涅槃会）でした。クシナガラ（クシナガラ）の沙羅双樹の間で入滅されたのですが、頭北面西で右手枕し右脇を下にしています。



## 釈尊の生涯

### 真理を求めて

太子は絶望にめげず、なお、旺盛な氣力を失わずに、出家の目的を果たす新しい道のあることを確信しながら、苦行林をあとにナイランジャーナ河で長い間の垢を洗い落とし、木陰に疲れた身体を横たえ、やがて村娘スジャーターたちの捧げる乳粥をうけ、もっぱら肉体と氣力との回復につとめられた。

太子はこうしたことにより心を乱されることもなく、元氣を回復されると、ナイランジャーナ河のほとり、ガヤーへと向かわれ、ピツパラ樹の木陰を最後の修行の地と定め、「我も所期の目的をなしとげることができなかつたならば、この身を砕けよ。現実の苦悩の根源を断ち切るまでは、この座を起つまい」と、決意もかたく四十九日の間、深い思惟の人となつた。

## 仏教的ターミナル・ケア 第4回

### 看病御用心 良忠上人

#### 現代語訳

敬つて知識、看病人に申し上げます。人間が極楽往生すること、誠に人生において一大事の因縁ごとです。もし知識の慈悲の心による念仏の勧誘がなかつたならば、どうしてこの一大事を成し遂げることができませんでしょうか、とてもできはしないでしょう。それが故に病人は、知識に対して仏を拝するのと同じような思いをなし、知識もまた病人に対して慈悲の心をもつて、我が子に接するようにしなさいと言っています。

そこでここでは病人の心中に思うところを把握なさつて、病床に臥したその時から、死に至るまでの間、看病人として心得ておくべき事柄を記し申し上げておきます。

一、酒類・肉類・香辛料など、臭く、穢らわしい物を食べた人を、病人の近くに決して近寄せてはなりません。

もしこのような物を食べたのである人を病人の傍に近づけると、悪鬼が乱入して、病人は狂死し三悪道（地獄道・餓鬼道・畜生道）に墮ちると、善導和尚は戒めておいてになります。このことは、聖教の掟であり、現に多くの証拠でもあるので、くれぐれもお慎みなさるべきことであります。

総じて病床についた当初から、知識・看病人の者二、三人のほかは親しい人、あまり親しくない者にかかわらず、人を近づけないことがよいと思われまふ。まして妻子などは決して近づけなさらぬほうがよいと思われまふ。

続く

### 院号授与式



玄雲院 高木 朴 殿  
敬心院 高木 一美殿

1月25日 御忌法要での授与式  
ご夫婦で院号を受けられました。おめでとう  
ございます。益々のご精進を祈年致します。  
だるまさんがたまった方はお申し出下さい。

戦国時代には骨肉の争いはさげようもなく、義を貫き通したとき  
れる上杉謙信でさえも内乱を制して越後の覇者となったのです。  
宿敵武田信玄が病死した翌年、受戒して謙信と僧名を名乗ったと  
いいます。その後は織田信長らとの戦いが続きました。信長との本  
格的な戦いを前に病死しましたが、右の歌は辞世の句といわれます。

訳 極楽でも地獄でも行き先は 夜明けの月のように清々しく、  
心にかかる雲はない。

極楽も地獄もさきは有明の  
月の心にかかる雲なし  
上杉 謙信

## かぞくておいしい! かくな流 精進料理



### 【作り方】

- 1 団子にするれんこんは、皮をむいておろし金で摺り、水分をしぼる。つなぎ粉を加えて団子状にまるめ、淡いキツネ色になるまで油で揚げる。
- 2 しいたけ、にんじん、はくさい、揚げ豆腐は食べやすい大きさに切っておく。
- 3 菊葉は水洗いし、揃えて切る。
- 4 百合根は1枚ずつはがす。
- 5 鍋の出汁が沸騰したら材料を入れ、ひと煮立ちしたら出来上がり。

## れんこんの 羽二重団子鍋

浄土宗~かるな~より

### <材料>

- れんこん・・・3節
- しいたけ・・・大4枚
- にんじん・・・1本
- はくさい・・・1/2個
- 揚げ豆腐・・・2丁
- 菊葉・・・2束
- 百合根・・・2個

### ◆つなぎ粉

小麦粉、片栗粉…大さじ4

### ◆鍋出汁

- 水・・・100cc
- 薄口しょうゆ・・・90cc
- みりん・・・130cc
- 昆布・・・適量

## 筑後三十三観音霊場

江戸時代中期、「久留米藩の吉宗」といわれるほど善政を尽くした筑後国久留米藩第七代藩主有馬頼貴によって創立された「郡中三十三観音札所」に始まる歴史ある観音霊場である。

観音様建立一万卷写経



写真はイメージです

### 14日会（念仏と写経の会）

- 1、日 時 毎月第3土曜日但し、8月はお休み  
午後3時より勤行とお念仏  
(日常勤行式 浄土宗のお勤め)  
引き続き 写経会  
※お勤めだけ、または写経会のみのご参加も歓迎します。
- 2、場 所 無量寺 2階 本堂にて
- 3、参加費 無 料  
写経用紙(和紙)は準備しております。(実費をお願いします。)  
用具は各自お好みのもの  
(筆、すずり、墨汁、サインペン等)をご持参ください。  
筆ペンを多少準備しております。  
納経を希望される方は 納経料 1巻 1,000円をご志納下さい。  
(納経料は積み立てて、観音様建立の資金といたします。)

### 福岡教区檀信徒研修会のご案内

毎年、春になると大本山善導寺で浄土宗二祖聖光上人を祀る開山忌が執り行われます。  
今年も3月27日より3日間の日程で厳修されます。

1日目におてつぎ推進大会と併修して、福岡教区檀信徒研修会が下記のように開催されます。

- 1、日 時 平成22年3月27日(土)  
日 程  
12:00 受 付  
13:00 開会式(お勤め・挨拶)  
13:20 宗歌、綱領唱和  
13:30 講 演 『元祖800年大遠忌とおてつぎ運動について』  
総本山知恩院おてつぎ運動副本部長 鶴飼 義昭上人  
14:45 講 演 『法然上人のお念仏のみ教え、そして二祖鎮西聖光上人への継承』  
大本山善導寺 鎮西研究所所長 江島 俊雄上人  
15:45 山響太鼓演奏 善導寺太鼓の会  
16:30 閉 会
- 2、会 場 大本山善導寺  
久留米市善導寺町飯田550 電話 0942-47-1006
- 3、参加費 無 料